

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年9月30日
【事業年度】	第87期（自 平成24年6月1日 至 平成25年5月31日）
【会社名】	株式会社中北製作所
【英訳名】	NAKAKITA SEISAKUSHO CO.,LTD
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中北 健一
【本店の所在の場所】	大阪府大東市深野南町1番1号
【電話番号】	(072) - 871 - 1331
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役・管理部門管掌並びに経理部長 大平 文人
【最寄りの連絡場所】	大阪府大東市深野南町1番1号
【電話番号】	(072) - 871 - 1331
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役・管理部門管掌並びに経理部長 大平 文人
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年8月29日に提出した第87期（自平成24年6月1日 至平成25年5月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものではありません。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第4 提出会社の状況

##### 6 コーポレートガバナンスの状況等

##### (1) コーポレートガバナンスの状況

##### 社外取締役及び社外監査役

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_線で示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第4【提出会社の状況】

#### 6【コーポレート・ガバナンスの状況等】

##### (1)【コーポレート・ガバナンスの状況】

##### 社外取締役及び社外監査役

##### (訂正前)

当社の社外取締役は1名、社外監査役は2名であります。

社外取締役川端伸也は、法曹界で長年培った専門的な知見と高度な倫理観から特にコンプライアンスや法律上の問題に関する助言について期待されており、証券取引所の要請による独立役員として届出しております。

社外監査役小網和秀及び大嶋文夫は、当社の主要取引銀行の出身ではありますが、いずれも退任後10年前後経過していること及びその間の他社での経営者としての経験から、当社が社外監査役に必要としている要件を満たしていると考えております。そのため、社内だけの視点に偏しない独立した客観的な立場に立脚した当社経営への助言と、経営者の業務執行に対する監視機能を果たすことが期待できると思慮しております。

当社は社外取締役及び社外監査役を選任するための独立性に関する基準又は方針は、証券取引所の企業行動規範及び独立役員の確保に係る実務上の留意事項等を参考にしております。

また、当社と社外取締役及び社外監査役は、定款及び会社法第427条第1項の規定により賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める額となります。ただし、その責任限度が認められるのは、その責任の原因となった職務の遂行について善意でかつ重大な過失がないときに限ります。

なお、当社と当社の社外取締役及び社外監査役との間には、社外監査役小網和秀氏が当社株式を平成25年5月31日現在5,000株保有しているほか、人的関係・資本的關係及びその他の特別の利害関係はありません。

社外監査役小網和秀氏の出身であります(株)三菱東京UFJ銀行に対して、当社は平成25年5月31日現在450,000千円借入金があります。また同社は、平成25年5月31日現在当社の株式を発行済株式総数の1.77%である339,312株保有しており、当社は同社の親会社であります(株)三菱東京UFJフィナンシャルグループの株式を24,180株保有しております。当社と、同氏が過去において取締役であった田辺三菱製薬(株)の間には人的関係・資本的關係及びその他の特別の利害関係はありません。

社外監査役大嶋文夫氏の出身であります(株)三井住友銀行に対して、当社は平成25年5月31日現在600,000千円借入金があります。また同社は、平成24年5月31日現在当社の株式を発行済株式総数の2.26%である432,375株保有しており、当社は同社の親会社であります(株)三井住友フィナンシャルグループの株式を6,409株保有しております。当社と、同氏が過去において取締役であった(株)セディナ及びライジングキャリア開発(株)の間には人的関係・資本的關係及びその他の特別の利害関係はありません。

##### (訂正後)

当社の社外取締役は1名、社外監査役は2名であります。

社外取締役川端伸也は、法曹界で長年培った専門的な知見と高度な倫理観から特にコンプライアンスや法律上の問題に関する助言について期待されており、証券取引所の要請による独立役員として届出しております。

社外監査役小網和秀及び大嶋文夫は、当社の主要取引銀行の出身ではありますが、いずれも退任後10年前後経過していること及びその間の他社での経営者としての経験から、当社が社外監査役に必要としている要件を満たしていると考えております。そのため、社内だけの視点に偏しない独立した客観的な立場に立脚した当社経営への助言と、経営者の業務執行に対する監視機能を果たすことが期待できると思慮しております。

当社は社外取締役及び社外監査役を選任するための独立性に関する基準又は方針は設けておりませんが、選任にあたっては証券取引所の企業行動規範及び独立役員の確保に係る実務上の留意事項等を参考にしております。

また、当社と社外取締役及び社外監査役は、定款及び会社法第427条第1項の規定により賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める額となります。ただし、その責任限度が認められるのは、その責任の原因となった職務の遂行について善意でかつ重大な過失がないときに限ります。

なお、当社と当社の社外取締役及び社外監査役との間には、社外監査役小網和秀氏が当社株式を平成25年5月31日現在5,000株保有しているほか、人的関係・資本的关系及びその他の特別の利害関係はありません。

社外監査役小網和秀氏の出身であります(株)三菱東京UFJ銀行に対して、当社は平成25年5月31日現在450,000千円借入金があります。また同社は、平成25年5月31日現在当社の株式を発行済株式総数の1.77%である339,312株保有しており、当社は同社の親会社であります(株)三菱東京UFJフィナンシャルグループの株式を24,180株保有しております。当社と、同氏が過去において取締役であった田辺三菱製薬(株)との間には人的関係・資本的关系及びその他の特別の利害関係はありません。

社外監査役大嶋文夫氏の出身であります(株)三井住友銀行に対して、当社は平成25年5月31日現在600,000千円借入金があります。また同社は、平成24年5月31日現在当社の株式を発行済株式総数の2.26%である432,375株保有しており、当社は同社の親会社であります(株)三井住友フィナンシャルグループの株式を6,409株保有しております。当社と、同氏が過去において取締役であった(株)セディナ及びライジングキャリア開発(株)との間には人的関係・資本的关系及びその他の特別の利害関係はありません。